

職場における「がん患者の就労支援」 の取り組みについて

～産業医・産業保健スタッフの立場から～



本日お話すること

- **企業の健康管理における、がん患者の就労支援活動の位置づけ**
 - － 高齢従業員増加により、在職中のがん患者増加
 - － 治療の進歩で在職死亡例の減少⇒復職例増加
- **職場における「がん患者の就労支援」対策**
 - － 産業保健スタッフの支援と主治医連携
 - － がん患者の職場復帰の実際
 - － 産業医がいない職場の課題と対応
 - － ソーシャルキャピタルの重要性

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS



企業の健康管理の重要なミッション

- ① 従業員が「病気が原因で十分に働けない」という事態は、できる限り避ける。
- ② 従業員が「働くことが原因で病気になる」という事態（職業性疾患）は、絶対に防ぐ。
- ③ 従業員が「働いている間に持病が悪化する」ということも出来る限り防ぐ。



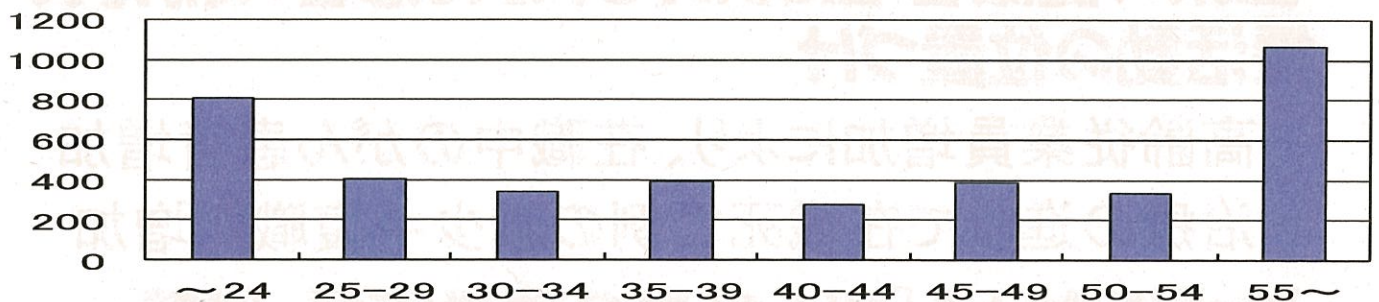
- ・ がん患者の就労支援は、上記の①と③に該当
- ・ 義務ではないが誠意をもって当たるもの

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS

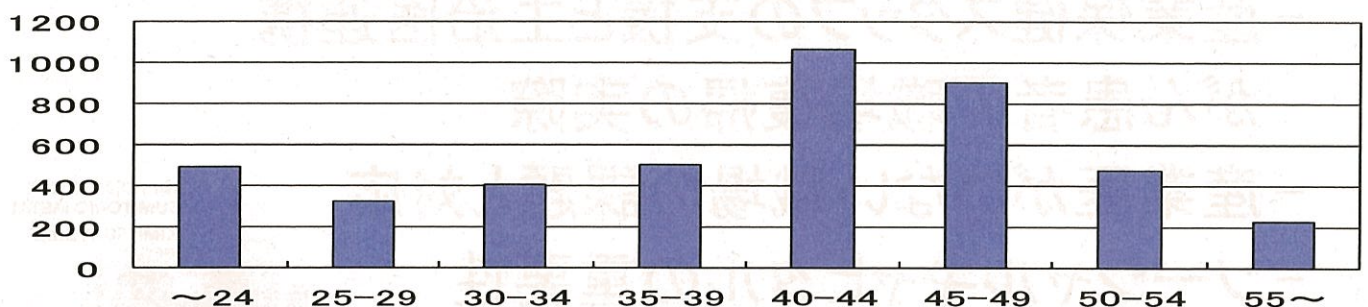


高齢者が多い事業場、定年延長等で高齢者が自然に増えた事業場、などでは「がん罹患従業員」が増える！

某事業場の年齢階層別人数（H25年）



某事業場の年齢階層別人数（H8年）



某事業場で数日の年休では収まらなかった がん休業患者の新規発生部位(H23-25)

食道	4	肝	1
胃	8	悪性リンパ腫	6
大腸・直腸	11	皮膚黒色腫	1
腎臓	3	胆膵	3
肺	6	その他	3

男性主体の職場。発生部位が多岐にわたる。
ほぼ全例が職場復帰する。46例/12600人年。

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS

企業における、がん対策

- ・ **職業がんの予防（発がん性物質対策）**
- ・ **一次予防（禁煙・受動喫煙防止、感染検査、過剰飲酒防止、食事・運動等）**
 - － 健康教育と予防的治療で危険因子の低減を狙う！
- ・ **二次予防（早期発見・早期対処）**
 - － **がん検診の機会を提供**する。社員の福利厚生の一環として健康保険組合等と協力して、費用や業務を配慮し、受診し易い環境を整備する。
 - － **健康教育を通し、がん検診の受診意欲を高める。**
- ・ **三次予防（がん患者の就労支援）**
 - － 急速に増加している

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS

がん患者の就労支援に役立つ5つのポイント

厚労科研「がんと就労」研究班HP
<http://www.cancer-work.jp/>

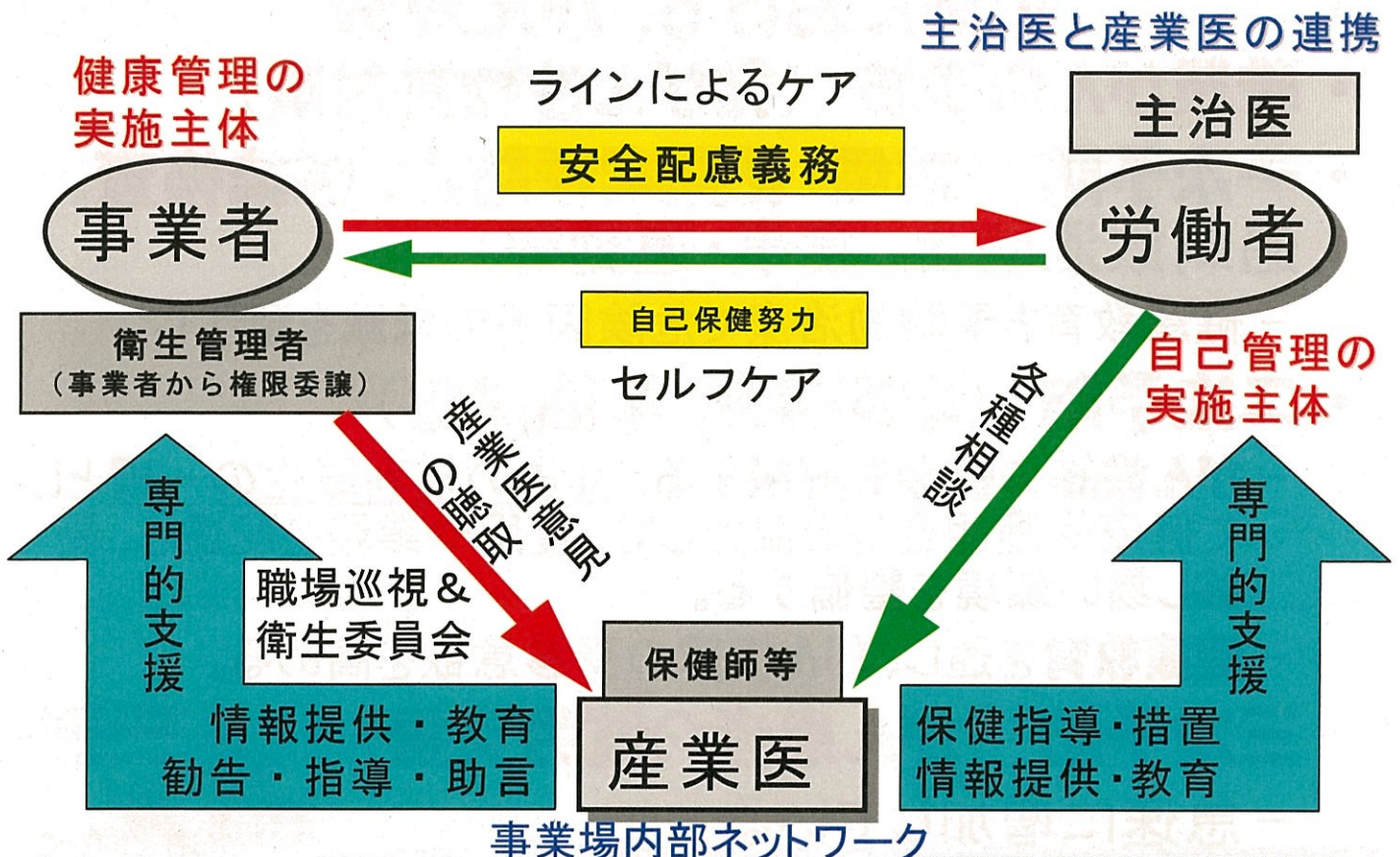
- ◆患者さんの**仕事に関する情報**を十分に集めます。
- ◆患者さんの**悩み**に対して、医療職が幅広くサポートします。
- ◆患者さんの**希望**に応じて受診や治療が出来るように配慮します。
- ◆仕事を継続しながら治療ができるよう、**治療による仕事への影響**について十分に説明します。
- ◆スムーズに**職場復帰**できるような工夫や**職場（上司や同僚）**の理解を得る為のアドバイスをします。

⇒**産業医と主治医の連携がカギ！**



© 2014 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION. All rights Reserved.

主治医の立場と産業医の立場



産業保健スタッフ活用の重要性

■産業保健スタッフ(産業医・保健師等)は**社員と職場をよく観察して把握**している医療専門職

- 誰がどこでどんな仕事をしているのか？
- 作業時間・作業強度・心身の負荷はどうか？
- 職場の人間関係はどうか？
- 現在の健康状態を悪化させるリスクは？
- 配置転換等の措置が必要か？可能か？

■主治医と産業医の連携は、換言すれば「**患者把握と職場把握の連携**」といえる

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS

がん患者の職場復帰支援の手順の例

1. 主治医による職場復帰可能の判断
2. 主治医に産業医への**診療情報提供書**要請(産業医から情報の使用目的と秘密保持を伝達し本人了承)
3. 産業医面接実施⇒**本人承諾**あれば上司を交えて就業条件の検討と実行可能性の確認(必要に応じて家族を交えた面接になる場合もある)
4. 職場復帰の**可否判断**および**就業措置に関する意見**を記した**産業医による職場復帰診断書**の作成
5. **復帰審査委員会**で最終決定⇒抗がん剤使用などの情報も伝える(開示は本人承諾が原則)
6. 職場復帰後の**産業医フォローアップ**

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS

がん患者に対する就業配慮の例（53歳発症）

- X年3月の健診の胸部X線検査で異常指摘され、右原発肺癌と診断された常昼勤務の現場管理者。術前化学療法を施行中に出勤希望あり、主治医許可もあり産業医面接を経てX年7月に【過勤務禁止】【机上業務限定配慮】を講じて出勤。化学療法3コース実施して効果あったため同年10月に手術実施。本人の復帰希望が強く、主治医許可を得て、産業医面接を経て【重筋作業禁止】【高熱作業禁止】を追加して11月に復帰。後進育成の資料作成を主業務に据えた。
- X+1年1月に再発認め、2月より休業し化学療法4コース実施し経過は良好。産業医面接と復帰審査委員会を経て、9月から復帰。
- その後に肺内転移再発があり、X+1年11月より休業し化学療法4コース実施した。復帰希望があり、産業医面接と復帰審査委員会を経て、就業制限措置は変えずに、12時迄と15時迄を各々1週間の時間短縮勤務を経ることとしてX+2年4月に復帰した。度重なる抗癌剤使用で体力的な低下はあったと考えられたが、本人にとって就業は生きる気力に繋がっていた。
- 転移巣増大があり、X+3年11月から再入院、X+4年1月に在職死亡。

11

がん患者に対する就業配慮の例（57歳発症）

- X年12月に便柱狭小化と排便障害を自覚し、X+1年2月上旬に内視鏡検査で上部直腸に全周性の進行癌発見された現場オペレーター。2月下旬に直腸の低位前方切除術＋横行結腸人工肛門造設術とリンパ節郭清を実施された。リンパ節への転移があり、右胸にCVポートが設置された。4月下旬から2～3週間毎の外来化学療法が予定された。
- 本人が就業を希望したため主治医からの診療情報提供書を頂き4月中旬に職場上司同席で産業医面接実施。元気で活力はあるが、腹部を大きく切開しており、人工肛門があり、化学療法の影響発現も考えられたため、腹部保護と疲労防止の就業制限が必要と考え、【重筋作業禁止】【高熱作業禁止】【有害物曝露作業禁止】【高所作業禁止】【交代作業禁止】措置とした。安全作業標準書の見直しや文書管理を主業務とした。
- 化学療法は計12コース実施。その後のCT検査などで問題ないため、人工肛門の除去手術と結腸と直腸の吻合手術が予定され、X+2年2月に手術施行。3月に復帰希望あり産業医面接。【重筋作業禁止】【高所作業禁止】以外は制限解除とした。制限範囲内で現場作業に復帰して就業中。

12

事業場規模別にみた安全衛生法の遵守状況 (H22年選任率とH21年実数) 公務員を除く

事業場規模	衛生管理者	産業医	衛生委員会等	事業場数 (実数)	従業員数 (実数)
1000人 ≤	99.8	99.8	99.8	12,031	8,125,928
500-999人	98.2	98.7	98.1		
300-499人	98.1	99.3	99.0		
100-299人	94.0	95.8	92.8	50,473	7,953,580
50-99人	80.4	80.9	78.8	102,963	7,022,465

産業医制度は民間企業的全雇用従業員数(H21年で58,789,533人)の39.3%に及ぶ。⇒アクティブに動く産業医(or保健師)の増加策と活用策が重要！

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS

がん患者の就労は企業にとって不可避的課題

従業員にとって・・・勤労の義務と権利がある

- ・治療法の進歩により、がんの診断後、必ずしも短命でない。
- ・受診時間の確保ができれば外来治療も可能。
- ・治療費や生活費の確保に就労が必要。
- ・就労は、社会とのつながり、社会貢献の手法、生き甲斐。
- ・課題：本人の意欲と周囲の理解

企業にとって・・・従業員の雇用責任がある(企業規模や経営理念や体力などに依存)

- ・高齢化により労働者のがん発症は増加する。
- ・技能や経験を持った貴重な労働力である。
- ・課題：その会社はどこまで配慮できるか。

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS

がん患者の就労支援を進めるには ソーシャル・キャピタルが重要

- 以下をキーワードとする**社会組織の特徴(資本)**
 - 「信頼」;**同僚を大切に**し、尊重する職場風土
 - 「人的ネットワーク」;自分を**支えてくれる人間関係**
 - 「参加意識・規範」;**自分も周囲を支え、多少辛くても頑張れる意識**
- **ソーシャル・キャピタルが豊かだと疾病の治療タイミングを逃すことなく望ましい治療が受けられる。**
- **病気があっても、体調に応じて仕事ができる。**
 - 中小企業でもソーシャルキャピタル次第⇒
誰がどうやって情報伝達して資本活用？

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS

がん患者の就労支援を支えるキーワード

- ① 本人の意欲 ⇒ (**主治医**から)正しい知識と情報
 - ② 職場の誠意と安全配慮 ⇒ (**産業医**から)いつまで何をどうすれば良いかの具体的な情報
 - ③ 本人と職場をつなぐ**産業保健スタッフ** ⇒ もし不在なら各都道府県の**産業保健総合支援センター**や**地域産業保健センター**に聞くことができる
 - ④ ソーシャル・キャピタル ⇒ **会社の制度と風土**
周囲(家族・友人・職場)の理解と支援
- ⇒ 「**がん患者は職場復帰ができる**」
という国民の合意と配慮ができると良い

NIPPON STEEL &
SUMITOMO METAL
KIMITSU WORKS